

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年03月10日

計画の名称	「水の都ひろしま」にふさわしい水環境を創出する下水道事業														
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度（4年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	広島市														
計画の目標	汚水処理施設の整備を進め生活環境を改善するとともに、老朽化した処理場・汚水中継ポンプ場の主要設備の更新を計画的に実施することで、「水の都ひろしま」にふさわしい水環境を創出する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		8,100	A	8,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H29末)	(H31末)
1	①汚水処理施設の整備により、下水道処理人口普及率を増加させる。			
	①下水道処理人口普及率 公共下水道及び特定環境保全公共下水道の処理人口（人）／行政人口（人）	94%	95%	95%
2	②水資源再生センター及び汚水中継ポンプ場で改築が必要と判定された主要設備数に対する改築実施率を増加させる。			
	②水資源再生センター・汚水中継ポンプ場の主要設備改築実施率 改築実施設備数（箇所）／耐用年数を大きく経過している改築が必要と判定された主要設備数（240箇所）	0%	30%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	新設	汚水ポンプ場整備事業（ 中河内中継ポンプ場ほか1 箇所）	機械・電気設備工事、場内整 備工事	広島市	■	■				250		－
	A07-002	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	新設	合流式ポンプ場等整備事 業（宇品ポンプ場ほか6箇 所）	送水管、情報伝送設備工事	広島市	■					720		－
	A07-003	下水道	一般	広島市	直接	広島市	管渠（ 汚水）	新設	汚水幹線整備事業（狩留 家幹線）	φ1,350、L＝600m	広島市	■					100		－
	A07-004	下水道	一般	広島市	直接	広島市	終末処 理場	改築	水資源再生センター改築 事業（千田水資源再生セ ンターほか3箇所）	水処理設備、汚泥処理設備、 受変電設備、防食 一式	広島市	■	■	■	■		6,130		策定済
		長寿命、ストック																	
	A07-005	下水道	一般	広島市	直接	広島市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場改築事 業（戸坂中継ポンプ場ほ か16箇所）	送水管、機械設備、電気設備 、防食 一式	広島市	■	■	■	■		900		策定済
		長寿命、ストック																	
										小計						8,100			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						8,100		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 広島市（計画調整課）	事後評価の実施時期 令和4年3月
	公表の方法 広島市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水処理施設の整備を進め生活環境を改善するとともに、老朽化した処理場・汚水中継ポンプ場の主要設備の更新を計画的に実施することで、「水の都ひろしま」にふさわしい水環境の創出に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和２年度以降も新たな社会資本総合整備計画（快適な都市環境を創造する下水道事業）において、引き続き事業を推進し、将来にわたって自然と調和した快適な都市環境を創造することとしている。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	95%	計画の一部前倒し等による増加
	最 終 実績値	96%	
2	水資源再生センター・汚水中継ポンプ場の主要設備改築実施率		
	最 終 目標値	100%	合流式ポンプ場及び雨水ポンプ場の改築を優先することとしたことによる減少
	最 終 実績値	89%	